

1. 内政

(1) 次期検事総長候補

パス・イ・パス検事総長の5月辞任を前に、人事委員会は後任候補の選定を開始した。公示は3月3日～7日に行われ、パス・イ・パス現検事総長を含む計30名が立候補した。人事委員会は同候補者から要件を満たしていない4名を除外した。同委員会は候補者を6名まで絞り、5月2日に大統領に候補者案を提出する。

(2) 最高選挙裁判所判事の選定

11日、2014年から2020年までを任期とする最高選挙裁判所判事（判事5名、判事補5名）に関する人事が国会で承認され、同判事は20日に就任した。

(3) 閣僚に対する国会喚問の再開

最高選挙裁判所判事の選定後、国会では閣僚に対する喚問が再開された。18日、バツィン文化スポーツ大臣に対する喚問が再開されたが、同大臣に対する不信任決議案は否決された。25日、デル・アギラ教育大臣に対する国会喚問が開始され、国会では法案を審議できない状態が続いている。

(4) 野党 LIDER の次期選挙の候補者指名

バルディソン野党 LIDER 党首は、ロベルト・ビジャテ国会議員団長を来年実施される総選挙における副大統領候補に指名した。また、グアテマラ市長候補にはエドガル・アフシupp議員を指名した。

2. 外交

(1) 対台湾関係

18日、資金洗浄の容疑で米国へ身柄引渡しが行われたポルティージョ元大統領に対する公判において、同大統領は台湾との外交関係を維持する見返りに計2.5百万米ドルの賄賂を受け取ったことを認めた。19日、当国外務省は本件に対する説明を台湾大使館に求めた。これに対し、台湾大使館は外交関係維持目的での資金提供を否定した上で、同資金は教員用テキスト及び大統領府の図書館建設のために提供したものである旨回答した。なお、ペレス・モリーナ大統領は本件がもたらす外交関係への影響について、中国との外交関係樹立を明確に否定した。

(2) カレーラ外相の外遊

カレーラ外相はスイス・ジュネーヴでアナン前国連事務総長と会談し、当国の違法薬物問題について議論した。また、ピレイ国連人権高等弁務官と会談し、本年中に任期満了となる当国の国連人権高等弁務官事務所について3年間の任期延長を申請した。カレーラ外相は、その後、バチカンでフランシスコ法王と会談し、グアテマラ移民に対する庇護を求

めた。

(3) 対米関係

2月末に米国政府が発表した報告書において、当国の警察や司法における組織的腐敗、麻薬輸送や強盗への警察・軍の関与が指摘された。これに対し、ペレス・モリーナ大統領は、米国の協力により当国警察の改革が進んでいることを報告者は言及していない旨指摘した。一方、3月に離任したアーノルド・チャコン在グアテマラ米国大使は、当国の発展に必要なものは組織の強化であるとの見解を示した。

(4) スペイン王妃の当国来訪

当国を来訪したスペインのソフィア王妃は、18日、ペレス・モリーナ大統領、カレラ外相らと会談し、当国に対する支援について協議した。また同日、パス・イ・パス検事総長と会談し、当国における女性への暴力問題等について説明を受けた。その後、ソフィア王妃はスペインによる援助の現場を視察した。

(5) エルサルバドル次期大統領の当国来訪

28日、当国を来訪したサンチェス・エルサルバドル次期大統領は、ペレス・モリーナ大統領と会談し、両国の経済関係強化を約束した。

3. 経済

(1) チップに対する課税

国税庁は、レストランやホテル等を利用した際に支払うチップは、課税前の金額ではなく、付加価値税（IVA）計上後の金額に対して乗じて計算し、また、当該チップの金額は請求書に記載すべきとの見解を示した（記載を怠った場合の罰金は100ケツアルとなる見込み）。グアテマラレストラン組合は、チップは顧客が店員に対して自発的に支払うものであるため、請求書へのチップの記載義務化に反対している。

(2) 米国からの当国強制送還者の増加

移民局の統計によれば、米国から当国への強制送還が増加傾向にあり、2月末時点で計8,395人が強制送還され、前年同月末時点と比較して31%増加した（前年2月末時点では6,414人）。

(3) 通関コストの増加

世界銀行の調査によれば、2014年1月の平均通関費用は900米ドルを超え、半年間で30～40%増加した（2013年半ばは650米ドル程度）。また、通関時の港での積荷の待機期間は、以前は8日間であったが、現在は17日間かかり、保管コストは一日あたり90米ドル／1コンテナ発生する。

(4) ペットフード輸出の増加

Agexport（グアテマラ輸出業者組合）によれば、2013年の中米向け当国産ペットフードの輸出は前年比で22%増加し、輸出額は6千万米ドルとなった。主な輸出先は、ホンジュラス（33%）、ニカラグア（29%）及びベリーズ（18%）。

(5) 中米企業と欧州企業のマッチングシステム創設計画

中米経済統合一般条約常設事務局（SIECA）及び国際貿易センター（ITC）は、中米企業及び欧州企業双方のビジネスのマッチングをするシステムの創設を決定した。同システムは Facebook のようなソーシャルネットワークを想定しており、2 年後に稼働する見込み。

(6) 高い陸上輸送コスト

世界銀行の調査によれば、中米の陸上輸送はアフリカの 2 倍、先進国の 4 倍の費用がかかり、中米は世界の中でも最も陸上輸送費用の高い地域のひとつであることが明らかとなった。世界銀行は、中米の国際競争力を高めるためには、陸上輸送の改善が必要であるとされている。

(7) トウモロコシ価格の上昇

国連食糧農業機関の報告によれば、2 月のトウモロコシの価格が 6.9% 上昇し、1 キロあたり 109 ケツアルとなった（前月は 102 ケツアル）。同価格上昇は主要市場における供給不足が要因であるが、国内の需要は十分満たしている。

(8) セメント価格の上昇

建設会議所の報告によれば、近年セメントの価格が上昇しており、5 年間で 37% 上昇した。上昇の要因は、石油価格の上昇、輸送費用の増加等が挙げられる。価格上昇率は毎年緩やかになっているものの、建設費用の増加が懸念される。

(9) 宿泊税の税収増加

観光庁（Inguat）によれば、宿泊税（宿泊代金の 10%）の税収は年々増加しており、2013 年は前年比で 9.3% 増加し、88.9 百万ケツアルとなった。また、2014 年に入り、当国を訪れる観光客数が増加しており、2 月末時点で 383,219 名が訪れ、前年同期比で 12% 増加した。

(10) ホンジュラスへの電力輸出の検討

当国の民間電力会社はホンジュラスへの電力供給を検討しており、2 月末にホンジュラス関係者が当国を来訪し見積りについて議論した。

(11) 鉱業の社会紛争リスク

中米財政研究所の調査によれば、鉱業が許可されている 101 市のうち 78 市において社会紛争が報告されている。鉱業は GDP の 2.8% を占めるが環境悪化に反対する社会紛争が多発している。一方、農業は GDP の 18% を占めるが社会紛争はほとんど起こっていない。

(12) 経済特区の創設

コントレーラス労働社会保障相は、地方におけるフォーマルセクターの雇用を増やすため、経済特区の創設を決定した。現在、337 市のうち、サン・アグスティン・アカサグアストラン市、グアスタトージャ市、エスタンスエラ市及びマサグア市の計 4 市のみが同イニシアティブに賛同している。

(13) 風力発電事業への融資

中米経済統合銀行（BCIE）は当国における風力発電事業に対する 50.7 百万米ドルの融

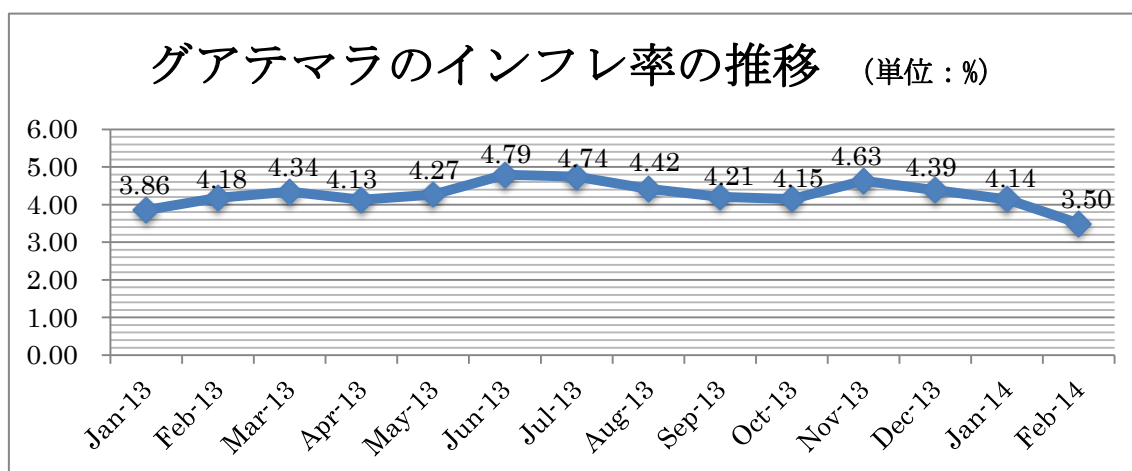
資を決定した。同事業はグアテマラ県ビジャ・カナレス市に風力発電施設（50MW）を建設予定。

（14）中国産鋼板のダンピング調査

経済省は、中国産の鋼板を輸入する会社に対してダンピングの疑いで調査を開始した。2013年の中国産鉄鋼の輸入額は前年比で2倍以上増加している。

（15）インフレ率の低下

当国のインフレ率は2013年2月以降、4%を超える高い水準で推移していたが、2014年2月は3.5%に低下し、物価上昇のスピードが緩和した。



(出所：国立統計局)

（16）政策金利の引下げ

26日、中央銀行は政策金利を5.00%から4.75%に引き下げる旨発表した。バルキン中銀総裁は、世界経済の動向といった外部環境が未だ回復の時期にあると判断したため、今回の決定に至ったと説明した。

◇主要経済指標◇

	2014年			2013年	2012年
	3月	2月	1月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	3.50%	4.14%	4.39%	3.45%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△708.2	△7,347.5	△7,009.1
輸出(百万ドル)	未発表	未発表	839.1	10,162.2	9,985.3
輸入(百万ドル)	未発表	未発表	1,547.3	17,509.7	16,994.4
外貨準備高(百万ドル)	7,074.4	7,163.9	7,164.6	7,272.6	6,711.2
外国からの送金(百万ドル)	未発表	383.94	394.2	5,105.2	4,782.7
為替レート(対ドル月平均)	7.73	7.76	7.85	7.86	7.83

(出所：中銀、国立統計局)

注) 2012年及び2013年の為替レートは年平均

4. 治安・社会

(1) 国外で収監される不法移民

現在、国外で収監されているグアテマラ人は計 899 名（米国 434 名、メキシコ 85 名を含む 10 か国）おり、主な罪状は不法入国や組織犯罪への関与である。一方、当国における外国人収監者は計 559 名（エルサルバドル人 163 名、ニカラグア人 134 名、ホンジュラス人 107 名、メキシコ人 70 名他）おり、首都における隣国出身者による犯罪が多い。

(2) グアテマラ市における大火事

25 日、グアテマラ市（zona 4）の市場において火事が発生し、同市場の 1,500 店舗のうち、約 600 店舗が火災の被害に遭った。本火災により、6 名が負傷、12 名の消防士が一酸化炭素中毒となった他、約 6 千名が火災の影響を受けたと報告されている。

(3) 国立サン・カルロス大学の新学長選出

24 日、国立サン・カルロス大学の次期学長を決める選挙が実施され、同大学のカルロス・アルバラード・セレソ前事務局長が新学長に選ばれた。

(4) 国営放送の開始

クエバス大統領府広報長官は、4 月上旬に国営放送を開始する旨発表した。国営放送はケーブルテレビを通じて配信され、ニュース番組のほか、スポーツ、大臣の活動に関する番組が放送される。

(5) 日本国政府国費留学生同窓会の発足

27 日、日本国政府国費留学生が日本大使公邸に招かれ、この機会に元国費留学生の同窓会組織の発足が発表された。これまでに計 78 名が日本国政府国費留学生として留学しており、今年は 5 名の当国学生が日本へ留学する。

(了)